The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF

TAKARAZUKA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝 塚 ワ イ ズ メ ン ズ ク ラ ブ
〒 662-0977　西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0797)35-5987

宝塚ワイズメンズクラブ　　２０１７年４月会報　第３４３号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P)　JOAN WILSON （カナダ）
主 題: “ Our Future Begins Today ”
「私達の未来は、今日から始まる」

アジア地域会長(AP) Tung　Ming　Hsiao
主 題: “ Respect　Y’s Movement ”
「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 岩本　悟 （熊本にし）
主 題:「ワイズ魂で　更なるワイズの活性化を！」
“ Energizing Y’s Men’sClubs with the Y’s spirit ”
副 題:「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増！」
Doubling membership through having substantial
Meetings and active service!

六甲部部長　　長井　慎吾(西宮)
主 題:「楽しい交流とやりがいのある奉仕活動で
更なるクラブ活性化を図ろう」

宝塚クラブ会長　若林　成幸
主 題:「限りない挑戦で新たな気風を呼び込もう！」

今月のテーマ　YMCAサービス･ASF

すると、イエスはシモンに言われた。「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」そこで、彼らは舟を陸に引き上げ、すべてを捨ててイエスに従った。　（ルカ５章 10b～11 節）

2017年4月例会

日　時 ： 2017年4月12日(水)18:30
場　所 ： 宝塚ホテル　ゴールドの間
会　費 ： 会員3，100円、会員外3，500円
ドライバー　　多胡葉子　杉谷和代

開会点鐘	若林　成幸会長
ワイズソング	全　員
ゲスト･ビジター紹介	会　長
聖書朗読	福田　肇
祈　祷	福田宏子
晩　餐	

お話し
「北朝鮮の今をどう考えるか」
若林寛之　氏

インフォメーション
YMCAニュース
誕生日記念日

閉会点鐘　　若林成幸会長

2016/17 役　員	会　長　若林成幸　直前会長　鯖尻佳子 副会長　多胡葉子　書　記　武田寿子 会　計　吉田　明　堀江裕一 会計監査　加藤光信 連絡主事　谷川　尚 メネット連絡　福田素子
事　業 委員長	ＹＭＣＡサービス・ユース　多胡葉子 地域奉仕・環境　福田宏子・EMC　杉谷和代 交　流　石田由美子　・ファンド　堀江裕一 広　報(ブリテン) 長尾　亘 (HP)　長尾　亘
特別事業 委員長	ＮＧＯ　鯖尻佳子　じゃがいも　福田　肇 バザー　多胡葉子　市民クリスマス若林成幸
お誕生日 おめでとう！	な し
３ 月 実 績	例会出席者数　24 名 在籍会員数　19 名（功労会員１） 出席会員数　14 名 出 席 率　73.37% メイクアップ(内数)　1 名 メネット　2 名 コメット･孫メット1名、ゲスト・ビジター7 名
	ＢＦポイント　３月　5,100 円 累　計　24,591 円 にこにこＢＯＸ　３月　3,000 円 累　計　28,500 円 ファンド（物品販売）　4,000 円 累　計　63,665 円

3 月第1例会報告

3 月の宝塚クラブの第一例会は 8 日（水）午後 6 時 30～宝塚ホテルゴールドの間でメンバー13 人ゲスト 10 人の 23 人が参加した。若林会長の開会点鐘ではじまり、ワイズソング、ゲスト・ビジターの紹介、聖書朗読、祈祷、そして会食を楽しんだ。

会食後、ゲストスピーカーの草野修氏から「水中写真に見る魚の生態と環境」と題しての講話を聞いた。

草野氏と YMCA とのつながりは 18 歳の時からで 50 年以上神戸 YMCA の会員として関わってきているとのこと。

そして今日のスピーチは神戸 YMCA で 20 歳の時に出会ったスキューバ～ダイビング。それが彼の人生そのものになって行ったことを通してスキューバ～ダイビングの魅力、海を知ることで環境問題に取り組んで行き、最近はそれらの活動が、認知症の高齢者の癒しにもつながっていっていることを語られた。

そもそもスキューバ～ダイビングは北米 YMCA で生まれたスポーツ。バスケットが YMCA から誕生したスポーツはみんながよく知るところだが、スキューバーダイビングが YMCA から生まれたとのこと。我々全員が初耳だった。

YMCA で誕生したダイビングに魅せられたスポーツを神戸 ＹＭＣＡでクラブとして立ち上げ、子供たち青年たちとともに海に潜り自然環境への取り組みをしてこられたとのこと。10000 回以上世界各地で海に潜り撮影された海中の美しい映像をスクリーンに映し出され、まるで夢のような世界に吸い込まれていく水中写真を楽しんだ。

YMCA に関わり活動していくことは小さな働きでも大きな力になり、子供たちの全人的な成長へとつながっていることを強く教えられたスピーチだった。

その後「3.11 の揚がれ！希望の凧」のプログラム参加依頼、 YMCA ニュース、誕生日のお祝いをして、閉会点鐘で例会を終了した。

多胡葉子

3 月第2例会報告

日時:3月15日(水)18時30分－20時30分
場所:宝塚市西公民館会議室　出席者:ビジター渋谷弘祐、若林、加藤、堀江、多胡、鯖尻、福田(宏)石田、吉田、武田、計10名
議題:

1. 本日のビジター:渋谷弘祐氏　自己紹介とクラブ近況報告
   所沢クラブ副会長、日本基督教団　毛呂教会牧師、元宝塚ゾリステン団員

2. 4月・5月・6月　例会運営の確認
   ・4月スピーカー　若林寛之氏「北朝鮮の今をどう考えるか」ゲスト6名予定
   ・5月スピーカー　中江幸一氏「ペルーの高齢者福祉を経験して」
   ・6月スピーカー　なし、 年度活動の反省

3. チャリテイー・バザーの運営(多胡メン)
   日時:5月27日(土)11 時～14 時
   場所:カルチェヌーボ宝塚逆瀬川(旧アピア3)1F フロア
   内容:蚤の市、イベント、ゲーム、お楽しみ抽選会、例年通り
   収益目標:300 千円(前年実績 420 千円)

検討課題:
① 蚤の市商品の収集・お楽しみ景品の収集
② お楽しみ券販売割当、メンバー各30枚、3月第2例会、4月例会にて配布、欠席者には郵送、チラシは1500枚印刷
③ 出店内容 焼きそば(鉄板を甲東教会に依頼)、アイスクリーム(マリアンジュ)、クッキー(若林メネットに依頼)
④ 広告、協賛企業に早めに働きかける、依頼状はメールにて配信
⑤ 内容は例年通りだが、リーダーの参加が少ないのでプログラムを考慮

4. 当面の行事その他
① 3 月 18～19 日 次期会長・主査研修会(参加者:武田・若林・石田・長尾)
② 3 月 19 日 神戸 YMCA 新館完成記念(参加者:武田)
③ 4 月 15 日(土)15 時～19 時 六甲部第 2 回評議会 賀川記念館4F チャペル
参加者:若林、多胡、鯖尻、石田、堀江、長尾、加藤、武田(計8名)
④ 西日本区大会(熊本)参加者:若林、長尾、石田、多胡、堀江、鯖尻、福田(宏)
武田計8名。大会の夜、鹿児島、岩国との交流会準備、DBCは次年度に。
⑤ 西日本クラブ実態調査アンケート(ワイズ将来構想委員会 森田恵三委員長)
各項目について全員で検討し記入した。

5. ブリテン 4 月号編集
原稿締め切り日 3月27日
校正 3月28-29日、
第二校正3月31日(発信)
原稿依頼 3月例会 (3月第2例会 (武田)
・揚がれ希望の凧(参加者全員、一言書く)
・会長の言葉 若林会長(総主事懇談会中心に渋谷氏のことも)
・他クラブ訪問・予定 あれば参加者が書く
・次期会長主査研修会・神戸YMCA会館
記念礼拝,
・YMCAニュース 谷川
・その他
・西日本区大会実行委員会アピールコーナー
・重松さん作成チラシ掲載予定
・ドライバー 多胡 杉谷
・聖書朗読 福田(肇)、祈祷 福田(宏)

6. その他
3月例会出席者計24名、(メン14、メネット2、コメット1、ゲスト7名内メーキャップ1名)
ニコニコ 3000円 累計28500円
BF 5100円 累計24591円
物品販売 4000円 累計63265円
2) 水谷さん今期で退会。承認
メンバー数18名
3) 神戸大会のアピールを、次期会長・主査研修会にて石田委員長が六甲部全員と共に行う予定。
コメントをビジター渋谷ワイズからいただき終了した。

書記 武田寿子

会長から

3 月 11 日(土)15 時から、六甲部クラブ会長と YMCA 総主事懇談会が神戸 YMCA にて行われ、長井慎吾六甲部長、杉本隆人次期部長を初め各クラブの会長・次期会長 12 名と井上総主事はじめ YMCA 職員・連絡主事7名が参加した。
はじめに井上真二総主事から神戸 YMCA の全体方針計画案と、三宮会館の完成に伴う記念式典等の実施、全国 YMCA で展開のブランディングの推進について説明があった。続いて、2017 年度の年間行事予定に基づいてワイズの協働・支援事業について協議した。また、明石市より受託の「あかしこども広場」の現況と 4 月に開設の親子交流スペース、中高生世代交流施設、工作・キッチンルームの貸室業務の報告があった。

タイ YMCA との協働プログラムについて、これまでの「物作り中心のワークキャンプ」から「グローバルな世界とともに活きるためのグリーン・アンバサダー・プログラム」への改変を協議・検討している旨、説明があった。六甲部としてワークキャンプへの支援を長く続けてきた経緯を踏まえ、新しいプログラムに関する丁寧な説明と、5 月中旬には、各クラブの支援予算に反映出来るような具体案が示されるように求めた。

この後、六甲部次期部長から 2017 年度部活動日程案、各クラブは当面の活動内容を披露した。また、新三宮会館の施設内容・利用案内の作成をお願いし、和気藹々の内に懇談会を終了した。

若林成幸

例会ゲスト・プロフィール

若林寛之　氏

1943 年生まれ。1967 年関西学院大学院修士卒。JETRO（日本貿易振興機構）に入り、ロンドン、ニューヨーク、ナイロビに駐在。東京本部で海外情報サービスや調査部長、その後理事(2001‐04 年)を務めた。

ジェトロ退職後、国際貿易投資研究所専務理事、エジプト・カイロ駐在を経て、2009 年から日本と北朝鮮の経済交流を支援する民間経済団体「東アジア貿易研究会」の理事長。

2016 年度　次期会長・主査研修会オリエンテーショ

2017 年 3 月 18－19 日大阪コロナホテルにて 154 名の参加者が西日本区から集まり、熱気あふれる研修会が開催され、参加してきました。第 1 日目はクラブ会長と主査の役目、西日本区の現況報告、および国際の現況、次期理事の活動方針、部長、会長の責務、事業主査の責務、など盛りだくさんで頭がいっぱいになりながらも、よく準備された進行で、あっという間に第 1 日が過ぎました。二日目の早天礼拝は牧師のご家族の熊本地震体験を通しての奇跡はわかりやすく、キリスト教理解もパワーポイントも説得力がありました。夜の懇親会では、来年の西日本区の初アピールを石田実行委員長

中心に参加した六甲部全員で行いました。神戸 YMCA の新会館記念礼拝のため、分科会途中で抜け出しましたが、これから 1 年
宝塚クラブに会長として何ができるか、大きな宿題をいただいたき研修を終えました。

武田寿子

神戸 YMCA 三宮会館　完成 記念礼拝

2017 年 3 月 19 日午後 2 時から 3 時まで、新しい礼拝堂で、完成記念礼拝が菅根信彦神戸教会牧師の奨励をいただき、行われました。エマオからの道と題したステンドグラスが正面にはめ込まれ、光

を受けてキラキラ輝いているチャペルは、旧会館を失った神戸 YMCA の再生と希望の象徴と思われました。中道理事長のあいさつの後、建設にあたった大林組に感　謝状と記念品が贈呈されました。そのあと正面玄関にオリーブの木を宮田前前理事長とともに記念植樹させていただきました。参会者とともに YMCA エリア、4 階からの生活科学運営部分の介護付き住宅と高齢者マンションを見学し、お茶の会でよろこびをともにしました。1 階の食堂は、お昼は学生や一般に開放されます。地域の方々にも気軽によっていただけるオープンな YMCA であってほしいと願います。　　武田寿子

3.11 揚がれ！希望の凧

東日本震災支援プロフェクトとして5年間「揚がれ！希望の凧」プロジェクトを宝塚ワイズの主催で実施してきたが、5年を区切りにこのプロフェクトは一応の区切りをつけることを宝塚ワイズとしては申し合わせていた。
過去5年間この支援プロジェクトを通して、多くの方々、団体との地域での繋がりが広がったことは感謝である。

はんしん自立の家の入居者の方々が、今年も大空に凧をあげ、たとえ小さな活動でも私たちが、いながらにしてできる支援は続けたいとの申し出があり、私たちワイズのメンバーも武庫川がっこうの方々と一緒に共催させていただきました。

宝塚ワイズが蒔いた種がはんしん自立の家の方々により、花を咲かせていただいたとの思いです。
当日はお天気に恵まれたなか和凧や前日に今田メネットとポリ袋で作った簡単凧など 30 機ほどが参加者の手で大空に気持ち良く舞ったり、すぐに落ちてしまったりしながらも参加者一同歓声を揚げて楽しみました。そ今年も青少年育成市民会議の方々によるアトム、天女の蓮凧を 40 連、音入りの凧を揚げて参加してくださった凧の会のメンバーが一層彩りを添えてくださって、子どもたち、車椅子の方たちと一緒に被災地の方々にエールを送ることができました。　　多胡葉子

揚がれ！希望の凧 2017 年のプロジェクト

「揚がれ！希望のたこ」、今年もはんしん自立の家で開催。
中村徹・健先生親子のピアノ連弾コンサートに続いて、入居者のみなさんが日頃熱心にお稽古された「花は咲く」を歌いながらフラを披露しました。
事前に、「一番前で踊りたい人？」って募ると数名

の入居者が「はい！」ってアピールされ意気込み充分でした。

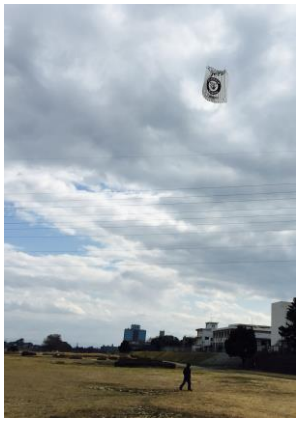
始まる前に元気がなかったＳさんは終わってから「出来た！」って満面の笑み。
「ピアノの生演奏で歌ってフラするのは気持ちがいい」とTさん。Ｙさんは「よかったぁ」と大きな声で大満足でした。みなさんにこんなに喜びを与える音楽、フラは本当に素晴らしい！
2 曲目は現在山本基子先生、宝塚クラブの多胡葉子ワイズの指導で練習中の「千の風になって」を大きな声で歌いました。

来月からこれをフラでお稽古する予定です。いつも協力を惜しまないコナミフラクラスのメンバーに大きな感謝を捧げます。

石田由美子

おまけ写真

宝塚クラブの希望の凧が揚がりました。



他クラブ訪問

大阪土佐堀クラブ：第一例会に参加して

3月21日(火)大阪土佐堀クラブの第一例会が、大阪YMCA902号室で開催された。
宝塚クラブより、多胡葉子、石田由美子、杉谷和代、福田宏子の花組4名が参加した。
丹吾　礼会長の開会点鐘、ワイズソング、聖書朗読、祈祷に続き、食事となった。 久しぶりの和食のお弁当も新鮮味があり、ゆっくりと味うことができた。

ゲストスピーチは「英語落語」。 笑笑亭 ちゃめ吉：乙野靖子さん、ミッチー：筆本美智子さん（福島眞一メンの姉君）による落語で、めちゃ吉さんは超ベテラン、ミッチーさんは数か月の経験とのことだが、なんのその・・・時折日本語が入り、より一層の理解を深めることができた。最近あちらこちらで、英語落語会が催され、耳にする機会が多くなりつつも、お二方の落語も悦に入り、日本手拭と扇子という簡単な小道具のみで多くを語ることができ、それに聴衆の無限の想像力が臨場感をより一層膨らますという、素晴らしい日本文化を満喫することができた。
その後、YMCAニュース、誕生日・結婚日のお祝い、YMCAの歌、オークションに続き、小畠英恵メンが四月より北九州 YMCA へ赴任とのことでのお別れの挨拶があり、6月熊本での西日本区大会での再会を誓いつつ、彼女の今後の活躍を願い、会長の閉会点鐘で幕を閉じた。

福田　宏子

WACCA(シングルマザーとその子供たちの居場所と仲間作りの場)を訪ねて。

3 月 22 日、各クラブのメネットが WACCA を訪ねて、代表である茂木美知子さんの講演を聞き、今年度メネット事業のテーマ「子供の貧困を考える」の活動のヒントをいただいた。WACCA の設立、その日常、課題についての講演内容に活動の難しさを考えつつも、希望をもって取り組む必要性を再認識した。サポートするのに必要なことそれは、①知ること、学ぶこと②仲間③場の力④お金の調達⑤セルフケアー⑥とことん寄り添うである。この 6 か条がこれからの活動の参考になると感じた。

その後、古着を売る「フリーヘルプ」にて掘り出し物？を物色したり、ランチを楽しんだりと春めいてきた新長田の町での有意義な一日を過ごしました。

福田素子

第 30 回 YMCA チャリティバザーについて

今年も昨年同様下記の目標のもとバザーを開催するために準備がはじまりました。新しいアイディア、寄贈品の確保、新規協賛企業の発掘などご協力よろしくおねがいします。

活動目標

1. 「明るく・楽しく・元気よく」を目標に、宝塚ワイズ、 YMCA、リーダーが協同で力を合わせて取り組み、活力ある楽しいバザーを開催する.
2. 地域住民・知人などに事前 PR 活動や新規協賛奇病の協力依頼への積極的な取り組みを行う。
3. 各所へのチラシ配布などの PR 活動を積極的に行い、ラッキーチケットの販売やのみの市への寄贈品の収集活動に力を注ぐ。

バザー準備など詳細に関して

1. 日　時　　2017 年 5 月 27 日（土）
   午前 11：00～14：00
2. 場　所　　カルチェヌーボ宝塚・逆瀬川（旧アピア）
3. 準備に関して
   5 月 25 日（木）・26 日（金）
   午前 10：00～と午後 1：30～
4. 企業への協賛依頼
   各企業へは昨年のとおりの担当者…別紙一覧表参照
   協賛品・蚤の市の寄贈品の保管に関して
   - 5 月 24 日までは、西宮 YMCA に届けていただくように依頼して下さい。
   - 自宅保管の商品は 25 日、26 日にカルチェヌーボへご持参ください。
5. ラッキーチケットの販売にかんして
   今年も 2,500 枚を用意しています。
   各自出来るだけ多くの販売をよろしくお願いします。
   メンバーの最低引き取り数は 30 枚です。（3,000 円）
   3 月第二例会に配布済み。欠席者へは４月ブリテンに同封して届ける。
6. リーダーとの打ち合わせは４月 19 日（水）４月第二例会時に予定。
7. バザー担当委員長は多胡ですが、担当委員はメンバー全員とする。

次回バザー委員会は４月第二例会時に開催予定。

多胡葉子

【今月のみ言葉】

ここにはシモン（ペトロ）らイエスの最初の弟子たちが召し出される場面が描かれています。彼らは漁師であり、まさに舟に乗って漁をしていた最中にイエスに従うことを決意するのですが、事実イエスの弟子たちの多くは、日常生活の只中で召し出され、弟子入りしていったのです。

もっとも、彼らはイエスの呼びかけに即座に応えて、その場でイエスに従っていったのではありません。むしろ彼らは、イエスによる大漁の奇跡を目の当たりにして自然界をも支配するイエスの権威に圧倒され、「あなたは人間をとる漁師になる」というイエスの予言的発言を聞いてイエスに従っていったのです。そしてまた彼らが召し出されたのは、彼らが特に優れた資質や信仰を持っていたためではなく、ひとえにイエスが働きかけたことによっており、まさに彼らが選んだのではなく、神が彼らを選んで召し出したのです。

召し出された彼らは一切を棄ててイエスにつき従い、全く新しい道を歩み始めていきますが、このように彼らの生き方を大きく転換させたのは、イエスとの出会いでした。私たちもまた、日常的に様々な形で多くの出会いを経験していますが、一つの偶然の出会いが、その人の人生を大きく転換させることもしばしば起こります。その意味でもこのエピソードは、人生における出会いの大切さを示すと共に、その出会いをしっかりと受け止めて決断することの大切さをも指し示しているように思えてきます。

嶺重　淑

YMCA だより

新年度、保育園では恒例となる、新入園児の泣き声の大合唱が始まっています。お家でいつも一緒にお母さんと一緒に過ごしていた子ども、もっと小さい保育園や小さいお友だちしかいない施設から移ってきた子どもにとっては何よりも大きな変化の時となっています。この時期にとにかく大事にしているのは、安心感、信頼感です。子どもが安心して過ごしていいんだと感じること、保護者が保育者に保育園に信頼感をもって子どもを託せる場所だと感じてもらうことを第一に 4 月を迎えます。

神戸 YMCA は新たな会館、新たな歩みを始める時を迎えています。3 月には神戸教会の菅根牧師の司式により三宮会館完成礼拝、そして式典を執り行うことができました。5 月にもお披露目の会、また皆さんには創立記念日礼拝の際にぜひ見ていただけたらと思っています。「新しいぶどう酒を古い革袋に入れる者はいない。そんなことをすれば、革袋は破れ、ぶどう酒は流れ出て、革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。そうすれば、両方とも長もちする。」とは、マタイによる福音書の言葉ですが、新しい革袋を与えられる時だからこそ新しい魂を吹き込んだ歩みも必要です。その時を、YMCA にかかわっていただいた、また新たにかかわってくださるの信頼感を得る中で、新たな魂に生まれ変わり歩んでまいりたいと思います。

1）西宮・宝塚リーダー会

現在、野外活動を中心に子どもたちにかかわっているボランティアリーダーは、約 20 名ほどいます。3 月に 7 名の大学生ボランティアをそれぞれの新天地に送り出して、また 4 月から新たな仲間獲得に走りまわっていますが、ボランティアリーダーのかかわりこそ、YMCA の活動の根幹となっているといっても過言ではないくら

い大切な存在です。多感な学生時代に、予測不可能な子どもとの関わりは、子どももかかわるボランティアも大きな成長の機会が与えられます。かかわることによってともに成長していく、そんな歩みをする仲間を増やそうと奔走しているリーダーにまた声をかけていただいたり、よければリーダーの募集の吹聴をしていただければと思います。バザーなど様々な機会に協働する若者を今年もよろしくお支えください。

2) 今後の予定

三宮会館について)

新会館のお披露目の機会を兼ねた神戸YMCA131 周年創立記念日礼拝は5 月 8 日に行います。またオープンハウスDAY(仮称)として5 月 13 日には地域にもお披露目の機会を予定しています。

何分協同事業者も一緒に会館の使用方法などを考えていかないといけないこともあり、これまでのようにすぐに皆さんにお貸ししたりと利用していただくことについてはしばらく様子を見ないといけないことになっていることご了承ください。

会員総会について)

法改正もあり、各法人理事会などの開催が遅くなったことも受けて、2017 年度の会員総会については6 月 30 日(例年より1か月遅い)となっています。ワイズの方には多くの方が YMCA を支える総会構成員になっていただいていますが、なにとぞ多くの方の参加をお願いします。

総主事懇談会について)

例年六甲部の部長や各会長と懇談を持つ中で、YMCA をお支えいただく依頼をさせていただく時間を持っていますが、2017 年度の支援依頼も 3 月 11 日に時間を持たせていただきました。新会館のことや YMCA の現況など、多数お願いをしていますが何卒よろしくお願いします。

2018 年西日本区大会(神戸)実行委員会報告コーナー

2017 年 3 月 18 日(土)、次期会長・主査研修会 1 日目終了後の懇親会で、アピールキャラバンのプチ・デビューを果たしました。

当クラブ重松えみりワイズデザインによる大会チラシは直前に出来上がり、研修会参加次期クラブ会長に渡りました。「すこやか、しあわせ、ワイズとともに」がこの大会のキャッチフレーズです。テーマカラーの六甲山の緑とシンボルのポートタワーが神戸を表しています。

壇上には大野勉次期理事始め、研修会出席の六甲部次期部長、会長、主査、理事キャビネットメンバー、そして次期西日本区事業主任が揃って神戸大会をアピールしました。大会会場のアクセスの良さは大きな力になるでしょう。

6 月の熊本大会、9 月から始まる各部部会でのアピール内容も、より効果的、より魅力的に練り直して多くのワイズメンに期待して頂けるよう励みたいと思います。

大会実行委員長　石田由美子